

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-34616

(P2001-34616A)

(43) 公開日 平成13年2月9日(2001.2.9)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	サーチコード(参考)
G 0 6 F 17/30		G 0 6 F 15/40	3 8 0 Z 5 B 0 4 5
15/16	6 2 0	15/16	6 2 0 H 5 B 0 4 9
	6 4 0		6 2 0 W 5 B 0 7 5
17/60		15/21	6 4 0 Z
			Z

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-203432

(22) 出願日 平成11年7月16日(1999.7.16)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 益岡 竜介

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 川村 旭

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100095555

弁理士 池内 寛幸

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報仲介・統合装置

(57) 【要約】

【課題】 質問が比較的複雑で条件設定などの項目が多い場合であっても質問に対する適応性が高くかつ柔軟性のある情報仲介・統合装置を提供する。

【解決手段】 質問スキーマ収集部26によりDBエージェントが回答可能な質問スキーマを収集しテーブルを作成する。利用者入力された質問を質問入力部21を介して受け付け、質問スキーマ解析部22によりスキーマを解析する。質問分解部23により質問をスキーマ単位の質問部分に分解する。分解ロジックを記憶保持しておく。質問部分送信部24は、質問スキーマテーブルの情報を基に、各質問部分を当該質問部分のスキーマを受け付けるDBエージェントに対して送信する。DBエージェントが検索して得た回答部分を返信し、回答生成部25は、分解ロジックに対応する合成ロジックを用いて回答部分を合成・統合する。

